

■耐化学腐食の主な材料

腐食剤	主 な 溶 射 材 料			
	自 溶 合 金	一 般 金 属	セ ラ ミ ッ ク ス	樹 脂
酢 酸	Ni 基、Co 基合金	ステンレス、Ni 他	Al ₂ O ₃ 、Cr ₂ O ₃ 、ZrO ₂	エポキシ
塩 酸		Mo 他	Al ₂ O ₃ 、Cr ₂ O ₃	エポキシ、ポリエチレン
硝 酸		ステンレス、Ni 他	Al ₂ O ₃ 、Cr ₂ O ₃	エポキシ、ポリエチレン
硫 酸	Ni 基合金(希硫酸)	SUS316、Ni 他	Al ₂ O ₃ 、Cr ₂ O ₃	エポキシ、ポリエチレン
水酸化ナトリウム	Ni 基、Co 基合金	ステンレス、Ni 他	Al ₂ O ₃ 、Cr ₂ O ₃ 、ZrO ₂	
水酸化アンモニウム	Ni 基、Co 基合金	ステンレス、Ni 他	Cr ₂ O ₃	エポキシ
石 油	Ni 基、Co 基合金	Al 他	酸化物	ナイロン、エポキシ

常温、常圧での試験データのため、実際の適用に対しては使用条件を考慮する必要があります。その他ハステロイ、トリバロイ、MCrAlY 等高耐食材料仕様もあります。

■アルミニウム防錆溶射 (JIS8301 抜粋)

種 類	等 級	記 号	備 考
1 種	1 級	AS 1	溶射のまま使用するもので防食を目的とする。
	2 級	AS 2	
	3 級	AS 3	
	4 級	AS 4	
	5 級	AS 5	
	6 級	AS 6	
	7 級	AS 7	
2 種	1 級	ASP 1	塗装用下地として使用するもので防食を目的とする。
	2 級	ASP 2	
	3 級	ASP 3	
3 種	1 級	ASS 1	溶射後耐熱封孔処理を施し、550℃以下の温度における酸化防止を目的とする。
	2 級	ASS 2	
	3 級	ASS 3	
4 種	1 級	ASD 1	溶射後加熱拡散処理を施し、900℃以下の温度における酸化防止を目的とする。
	2 級	ASD 2	
	3 級	ASD 3	

■亜鉛防錆溶射 (JIS8300 抜粋)

種 類	等 級	記 号	備 考
1 種	1 級	ZS	溶射のまま使用するもの
	2 級		
	3 級		
	4 級		
	5 級		
	6 級		
2 種	1 級	ZSP	塗装用下地として使用するもの
	2 級		
	3 級		
	4 級		

■水溶液中の Al・Zn の腐食量

